

しんりんかんだより

年主題

「共に喜んで」～すべての歩みの中～

月主題 3F/2Fいっしょに/わかちあって

‘21 第11号 (vol.59)

2022年2月1日発行



「大きくなったよ」

「わあーやったー今日は3階だ！！」久しぶりの土曜保育で登園したI君は乳児室での保育に大喜びです。「そういえばさあ大きいブロックあったよね、あれで遊びたい。」「ベランダも出たい～車乗るんだ・・・」「あ～あとさああれもあったよね～」とわくわくが止まらない様子です。

デュプロブロックで作った船にミニカーを積んで遊んでいると、乳児クラスのお友だちが登園してきました。「これっーこれ使いたいのー」と船と車を指さしています。「あ～これか～これ使いたいのか～」と少し考えていましたが、直ぐに車と船を譲ってくれました。「えっいいの!？」と保育者が驚いていると「いいよ また違うの作るからさ！」と余裕の表情です。

暫くするとテラスで車に乗りながら、「あっこの車アンパンマンついてたよね。Rが好きだったやつだよ～」「Rちゃん やだやだって、アンパンマンの車をお友だちと取り合ってたよね。」「そうだね、やだやだって泣いてた・・・」と笑いながらもどこか誇らしげな表情でした。やっと5歳になったI君にとって、2年前の乳児クラスでの出来事は遠い昔のように感じているのかもしれません。

3・4歳児だけで、散歩に出かけると年中の星組さんが年長さんがやるように、「鬼決めするから、みんな足出して～」と仕切っています。なかなか鬼に捕まらなないと「あつまって集まって～もうちょっと鬼を増やすからさあ～」「うーんあと2人でいいかな～」と頭を使って、どうしたらみんな楽しんでるかを考えています。

室内では、コマ回し、大縄、粘土、パズル、積み木、カプラ、ラキュー、ままごと等々、友だちと誘い合って好きな遊びに没頭する姿に成長を感じます。北風の中にも、少しずつ日差しは春を感じるごとく、コロナ渦の厳しい状況にも負けずに、子どもたちは、またひとつ上のクラスになることを楽しみに胸を張って前に進んでいます。

(主任 鹿糠 正美)